

2022年1月28日(金)

## ■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会=玉本 広人 SAA

◆会長告知・北川和彦会長=昨日からコロナの感染レベルが全県で6となり、まん延防止等重点措置が適用されました。不自由な生活を強いられますがここでしっかり感染を抑えないといつまでも収束しないと思うので、本日梶川諏訪日赤病院長のお話を伺い各自において対策を考えて頂きたいと思えます。今日の信毎にサラリーマン川柳の入選作品として「自粛中 まだ見ぬ孫が もう歩く」とありました。実感できる川柳です。人との交流が2年も閉ざされて影響があらゆるところに出ています。

本日の長野日報に小平会員の奥さんの陽子さんが岡谷市立考古博物館で「絵本諏訪の龍神さまと縄文の癒やし」というテーマの展覧会を3月13日まで開催している記事が載っていました。当クラブが一昨年学校にふるさと学習の図書を寄贈した際、諏訪の御柱や御神渡り、霧ヶ峰などを題材にした紙芝居も一緒に寄贈しましたが、その紙芝居を描いた方です。ロータリーファミリーの活躍を応援したいと思います。ついでにですが長野日報に元朝日新聞のスポーツ部長をしていた山田雄一氏が2週間に一度「語ろう スポーツ」という題でコラムを書いていて今日も御嶽海を取材した当時のことが載っていました。私の幼稚園、高校、大学の同窓ですので是非読んでみてください。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリークラブがもっとも大事にしている奉仕です。クラブ発足当初は、物質的な相互扶助を目的とした社交クラブと考える会員もいたようですが、相互扶助でなく、職業を通じて自己にとらわれない奉仕を実践するという理念が確立しています。

1989年RIの規程審議会は職業宣言を採択しましたが、①職業は奉仕の一つの機会である、②自身の職業では最高度の倫理的基準を推進すべし、③すべての人々に公正に、④他の有用な業務に敬意を、⑤職業上の手腕を捧げて地域社会の質を高めるべし、⑥事業を世に問うにあたっては正直を旨とすべし、等です。

先日弁護士のPR冊子を読んでいたら、海外の取引を扱っている弁護士が企業倫理としてはコンプライアンスでなくインテグリティが必要だと書いていました。「正義」と訳されているようです。総合商社の丸紅のコンプライアンス・マニュアルの冒頭には「正義(integrity)と利益(profit)のどちらかを取らなければならない状況に遭遇したら、迷わず正義を貫け」とあり、三井物産は「判断に迷ったときは、『誇りを持てますか?』と自らに問いかける。」という行動指針を説いているとのことでした。

大企業や中央官庁の不正隠蔽の記事を最近よく見かけますが、優秀な人でも不正義の方をとってしまいます。

コンプライアンスとか法令遵守と言っても上から目線でわ

かりにくいですが、このような標語なら社員の自発性を促すものでわかりやすいと思います。ロータリーの職業観が普遍的なものとなりつつあります。職業奉仕は、このような精神をもった職業人が社会のためによいことをしようという理念です。当クラブでも実践したいと思えます。

### ◆幹事報告・飯田兼光幹事

みなさんこんにちは前回に引き続きリモート例会となりますデジタル推進委員会 小口武男会員にはご協力ありがとうございます。本日の例会は職行奉仕委員会担当となります、梶川先生よりお話を頂きます。

菊池俊樹会員のお母さまがお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りします。

スタッフジャンパーの制作に当り委員の皆様のサイズ把握をします 後日サイズ確認用紙をご送付しますので希望サイズにチェックを入れ FAX にて返信ください 次回 2/4 はクラブ協議会、上半期会計報告となります、会計担当の高野会員準備をお願いします

### ◆クラブフォーラム 職業奉仕月間

#### 職業奉仕委員会 北澤光彦委員長

職業奉仕月間ということで、今年は企業の方々に協力して頂き色々なところを見せていただけるのかなと思って矢先に新型コロナウイルスの感染拡大で、本日は急きょ諏訪赤十字病院の院長であります梶川昌二会員にお話をいただくことになりました。貴重な話をいただけたと思います。梶川会員よろしくお願ひいたします。

### ◆梶川昌二会員

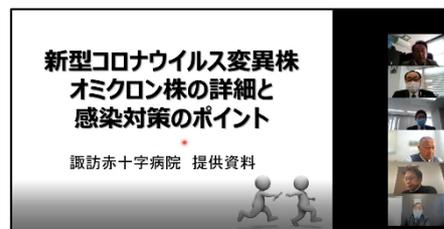
新型コロナウイルスのオミクロン株が急速に拡大し大変な状況になっております。

感染というのは細菌やウイルスが体内に侵入して増殖することですけれども、今回の感染拡大を見ても、一番はまず職場、会議室、特に喫煙室で注意が必要と言われてます。それはマスクを外して吸うのでかなりリスクが高い。会食の

場ではマスクを外し、声が大きくなるということになりますし、家庭内で皆さんマスクをするというわけにもいきませんので、こういう形で学校や施設、イベントなど、1人から次々に感染が広がるわけです。

ウイルスは無数に存在し、ヒトに病原性を有するウイルスは数百種類と推定されております。例えば 100 年前のスペイン熱はインフルエンザです。そういったものが今回の新型コロナウイルス感染症で、100年に一度と言われてますが、これまでの経過を見ても10年前にはSARSとかMERSの騒ぎもありましたし、今後に危惧されているのはインフルエンザ、特に鳥インフルエンザが鳥の中で広がっており、ヒトへの感染が確認されている例もありますので今後ヒトへの伝播性が出てくると、いつまた今回のようなパンデミックを引き起こすかというリスクを抱えていると考えて下さい。

新型コロナウイルスのPCR検査では大きい機械が必要となりますが、簡易キットでは抗原検査が行われます。現在患者数が増えすぎて検査のキットが足りなくなり、濃厚接触者であ



っても、検査をしてもらえない、保健所が追いつかなくなってきたという問題が起きています。

今のオミクロン株ですが、感染力が非常に強いのが大きな特徴です。その代わり重症化リスクは低くなりました。ただワクチンの発症抑制効果はかなり下がります。重症化の予防効果があるという報告がありますが、それでも今までのウイルスと比べるとオミクロン株はワクチンの効果も重症化の予防率も十分ではないということになります。

オミクロン株は軽症という話をしました。感染した本人もコロナにかかっているかどうか分からないので、ステルスクラスターといわれています。従来株だと感染が起きると発症しますので、入院や自宅待機となっていました。オミクロン株は軽症ですので全く自覚がないまま外出して職場で感染を広げる、色々なところで感染を広げるという事例が多発しています。従来はだいたい5日ぐらいが潜伏期間と言われていたのですが、オミクロン株は非常に早く3日です。インフルエンザが2日ぐらいといわれていました。ただ潜伏期間が短くなれば急速に拡大するわけですので、今の急激な感染者の増加に大きく関与しています。

感染力については第5波を引き起こしたデルタ株の3倍ぐらいといわれています。発熱、咳、痰、くしゃみ、鼻水が出る、もう症状は風邪とほとんど変わりません。オミクロン株はウイルスが上気道で感染するといわれています。どちらかという肺ではあまり増殖しないということで、肺炎を引き起こす確率が下がっているということになります。

それから、沖縄でもワクチンを2回接種済みの方が感染しています。ほとんど発症の予防効果はないというふうに考えていただいてもいいぐらい、オミクロン株に対して効果はありません。ただ第5波と比べても、重症率は非常に低くなっています。これはなぜかという若い人の感染者が多いということもあるのですが、当院受診する方も若い方が多く肺炎の方は非常に少なく重症化率が低いのは確かだと思います。

ファイザーを2回接種した方の発症予防効果を示すグラフです。接種から半年以上たった方は効果が10%ぐらいしかありません。ですから3回目の接種してない方は、ほとんどワクチンを打ってない方と同じぐらいしか発症予防効果はないというふうに考えていただいた方がいいと思います。3回目の接種をすると、また70%ぐらいまで有効性が上がって、発症予防効果が出るというふうになっていますが、それでも3ヶ月もすると予防効果が0%ぐらいになってくるとのことですので、コロナにかかりにくいということでは、確率的にはどんどん低くなっています。

来月から諏訪市でも高齢者接種が始まりますけれども、クリニック・各病院でやるのがファイザー、当院でやる集団接種はモデルナということになります。ファイザーは手に入らなくなりますので、クリニックで皆さん3回目のファイザーを打ちたいという方が多いと思いますが、クリニックの予約はだんだんできなくなりますので、なるべくモデルナ利用として当院に来ていただいた方がいいと思います。1回目、2回目ファイザーを打って3回目もファイザーを打った方よりも3回目にモデルナを打った人の方が、いわゆる交互接種をしていただいた方がワクチンの発症予防効果は高いとされています。まだモデルナは予約が取れますので、ぜひ打っていただければと思います。

現在治療薬としては、モルヌピラビルという内服薬が国内で承認されています。それからファイザーのパクスロビドという薬が近々国内で認可されますが、入院予防効果でモルヌピラビルは30~40%といわれています。ファイザーの薬は8~9割入院を予防できるという形でかなり効果が期待できます。この薬が3月ぐらいから出てくると思いますので、内服薬ですが期待している薬じゃないかなと思います。今、当院でもモルヌピラビルを扱うことができます。

重症者が少ない、確かにこれが第5波ですけれども大きな波が来ています。重症者というのは新規の感染者数に遅れてきますので今後注意しなければいけないと思います。長野県の現状は全域レベル6、県では6段階に感染警戒レベルが設定されており全ての地域が最高のレベルになりました。これ以上感染者が増えてもこれ以上の警戒レベルはありません。昨日まん延防止等重点措置が適用されましたが、ここ1週間の新規陽性者は全地域でまんべんなく感染者が出ていますので、十分注意して下さい。

これからは自宅療養が中心になりますので、皆さん会社とか色々なところで、感染者、濃厚接触者、自宅療養者と同居している家族に影響が及ぶ可能性があると思います。会社の中の限られた空間で厳重な感染対策がなされても、一旦すり抜けるとあっという間に広がります。十分注意していただきたい点を列挙しますと、やはり商談、皆さん避けるわけにはいかないのですが、マスクをしていても換気がされていなかったり、途中でお茶が出たり、お菓子も。そういう部分がありますので、マスクを外す機会を少なくしていただいた方がいいと思います。マスクについても布マスクはなるべく止めていただいて、ウイルスは粒子が小さいので、できるだけ不織布マスクをつけていただくことが大事だと思います。それから夜の宴会ですね、常連客が同じ複数店を訪問する。従業員が感染して、また他の店にも持っていく。この飲み会を中心としたコミュニティで大きく広がります。それから介護施設ですね、どうしても高齢者との距離が近くなります。介助だとか、それからお年寄りにはマスクができませんので接触が多くなります。介護施設の今クラスターがいっぱい出ていて、徐々にオミクロン株による死亡者も増えてきております。それから医療機関のクラスターですね、これもいろんな地域で多発しています。当院でも広がらないように十分注意していかなければと思っています。

どこから感染のリスクがあるかといいますと、症状が出たとき、熱が出たり喉に違和感があったその2日前から濃厚接触の定義になります。ですから症状が出る2日前から感染のリスクもありますし、濃厚接触者に該当しますので注意してください。検査が陽性になった日を発症日として計算しますので、それから2日前に接触した方が濃厚接触者になります。家族がコロナ感染して、自宅療養で注意していただきたいのは、世話はできるだけ少人数に限る。それから感染者は絶対に外出しないでください。ご家族はいつ発症するか分かりませんので、出勤や学校に行かれることは禁止です。ここを注意していただいて、誰が管理するというわけにはいきませんので、国民一人一人が厳重に注意していかなければなりません。医療従事者や郵便局の人など、いわゆるエッセンシャルワーカーと言われる方は、6日目から検査をすれば、出てもいいということになっていますし、医療従事者は濃厚接触者であって

も毎朝、抗原検査とか PCR で陰性を確認したら仕事をしてもらいたいという形ですけれども、一般の会社ではなかなかそこまでやるのは難しいと思います。これから高齢者に感染が拡大してきますので、オミクロン株であっても重症者が増える恐れは非常にあります。これは注意していただきたい点です。あとは若い方と比較すると、重症化率は高齢者が圧倒的に高いです。60 代ぐらいから一気にリスクが高まりますので、私も含めてですね、十分注意したいと思います。

基本は今までと同じです。まずマスクは不織布のマスクにしてください。布マスクは予防効果が非常に低くなっていますので注意をしてください。それから使用したマスクは他の部屋には持ち出さない。マスクの表面にはあまり触らず、ゴム紐などを持って外すようにしていただいて、その後には石鹸で手洗いをする。またマスクはなるべく新しいものに交換してください。マスクがない時は必ずティッシュで口と鼻を覆って飛ばないように十分注意してください。こまめに手洗いをしてください。新しいデータではオミクロン株は接触したところで、プラスチック等にどうも 1 週間ぐらい生きており、デルタ株やアルファ株と比べると接触感染のリスクが高いのではないかとされています。やはりこまめな消毒、手すり等には感染のリスクが潜んでいますので注意してください。それから飛沫感染の予防では換気、寒い時期ですが、できたら 2 方向の窓を 1 回数分程度、1 時間に 2 回ぐらい換気してください。寒い中で大変ですがぜひ協力をしていただいた方が感染予防にはなります。

会社における社員の感染対策の心得としては、閉鎖空間での会議や会話が多くなり、症状がなくても感染拡大させるリスクもあります。無症状者からの感染の可能性も指摘されており油断は禁物です。距離をとってください。これは今までと同じです。それから外出時はマスクをつける。個室であっても、複数であればマスク、咳エチケットを心掛けてください。会議も時間が長くなれば感染のリスクが高まりますので、なるべく少人数・短時間で終わらせるようにしてください。長くなる時には換気に十分注意してください。それから体調管理、体調の悪い方は出ないように。食堂や喫煙所ではマスクを外すのでリスクが高まります。例えば昼食、少し時間をずらして食事をしていただくとか、色々な工夫をしてください。注意しないといけないのが、ちょっと症状があっても会社に行こうと思えば行けるので、体調悪い方は出社を止めていただけるような環境を会社も作っていただきたい。

まん延防止等重点措置が昨日 (1/27) から適用され 2 月 20 日までです。みんなで頑張っていければと思います。県の取り組みとしては、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出移動を自粛してくださいと。ハイリスクの方、高齢者、基礎疾患、いわゆる呼吸器疾患や心臓病、糖尿病、肥満、高血圧、喫煙、それからワクチン未接種の方は重症化のリスクが高いので十分注意してください。感染拡大予防ガイドラインを遵守していないところにはなるべく出入りを控えてもらいましょう。車に複数の方が同乗した場合も、非常にリスクが高まりますので、なるべく避けた方がいいと思います。ご自宅を含め、普段会わない方と会食をするのはやめましょう。店舗や施設などが行っている感染防止対策には協力してください。少しでも体調に異変を感じた場合は、外出せず医療機関に相談してください。職場、学校の取り組みとしては、在

宅勤務、時差出勤、リモート会議などをできたら推奨してください。皆さんの職場も感染者が出たときにどのような対応をとるかを常に考えて準備をしていただいた方がいいと思います。飲食のリスクがやはり高いので、認証店か確かめて利用してください。座席の間隔を空ける。隣のお客さんから感染した事例はいっぱいあります。食事では食べる時以外にはマスクをつけて会話するように徹底していただければと思います。

戦うべき相手は人でなくウイルスです。療養者に優しい社会を作りたい。悪いのはコロナウイルスであり、かかった人ではありません。不当な差別や誹謗中傷は絶対しないようお願いいたします。諏訪人は人と人が慈しみ合う地域であり、このような時こそ人の痛みを敏感になり、共に支え合い、力を合わせて乗り切っていきましょう。今は感染者を減らすのが一番ですので、できるだけみんなで協力し合って、新規感染者のピークの波を少しでも抑えられるようにみんなで協力していければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私の方からのお話は以上になります。有難うございました。

2月4日	金	クラブ協議会 上半期会計報告
2月11日	金	法定休日
2月18日	金	クラブフォーラム 平和と紛争予防/紛争解決月間